

05 わいたさん 涌蓋山 (1499.6m) に到着！



▲女岳から涌蓋山山頂までのなだらかな尾根



▲涌蓋山山頂直下の南側斜面はミヤマキリシマがたくさん！



▲最盛期は山肌がピンク色に染まる



▲山頂からの「くじゅう連山」の眺めは爽快！

↑ 04 女岳到着



涌蓋山方面の道標から中に入ると、クヌギとアセビの森が続きますが、しばらくすると樹木がなくなり明るい登山道へと出ます。登り坂が続くので、急がずにゆっくりと登りましょう。後ろを振り返ると、阿蘇方面の絶景が広がっています。涌蓋山とつきのゲートから約50分ほどで、ケルンが積まれた女岳に到着します。涌蓋山山頂まであと少しです！

▲阿蘇五岳がみえる

ひぜんゆ 疥癬湯～涌蓋山コース

疥癬湯登山口にある駐車場は民間の駐車場のため有料ですが、登山口から涌蓋山とつきのゲートまで約60分と、スキー場側登山口から行くのと時間的にはあまり変わりません。こちらのコースもチャレンジしてみてください！



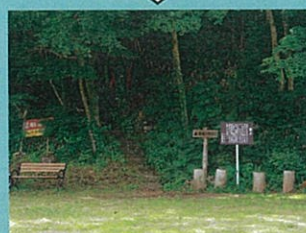
▲涌蓋山方面の道標 帰りは疥癬湯方面に入る道標を見逃さないよう要注意！



▲疥癬湯登山口入口 「山荘やまの彩」の横から下に降りる道に入ると登山口があります。

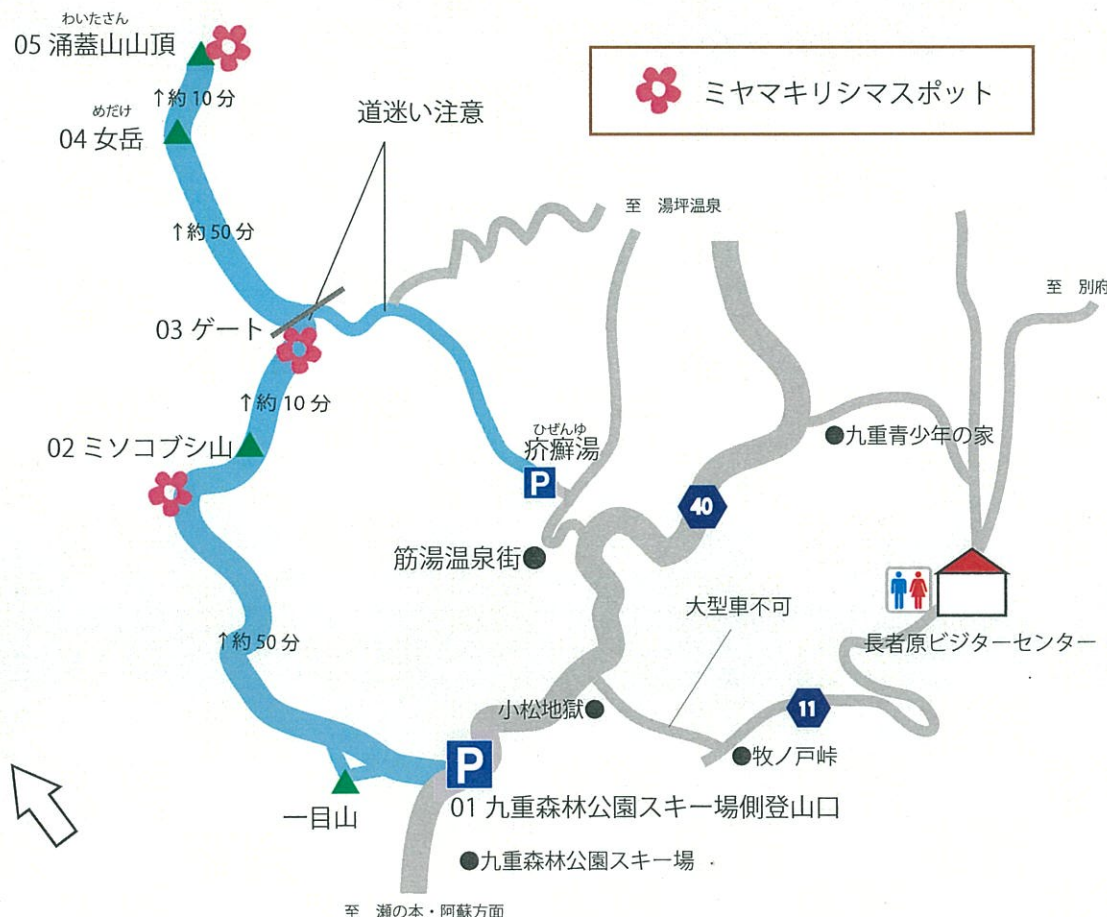


▲登山口から約10分ほど歩くと、コンクリートの舗装道路とぶつかります。右に曲がると道標があるので、指示通り進みましょう。



▲疥癬湯登山口 駐車可能台数：20台程度 (有料駐車場)

女岳からなだらかな尾根を約10分登ると、涌蓋山山頂に到着です！山頂は360度さえぎるものがなく、天気の良いればくじゅう連山はもちろんのこと、阿蘇～小国方面まで見渡すことができます。涌蓋山山頂直下の南側斜面にはミヤマキリシマが群生しており、5月下旬には山肌がピンク色に染まります！



03 涌蓋山とつきのゲート



林道を左折



ミソコブシ山を下りて、まっすぐ進むと涌蓋山の取りつきへと抜ける牧道のゲートがあります。ゲートまでの道は一部がササ原のため、霧がかかると方向を見失いがちです。ゲートの中に入る前に来た方向をしっかりと確認しておきましょう。ゲートを過ぎて道なりに進むと林道に合流します。林道を左折すると涌蓋山山頂への分岐の道標があるので、道標の示す通り涌蓋山方面へと進みましょう。



ミヤマキリシマと草原を楽しむコース

九重森林公園

スキー場～ミソコブシ山～涌蓋山

1140m

1299m

1499m

涌蓋山は、熊本県小国町と大分県九重町にまたがる独立峰で、その秀麗な姿から「小国富士」とも呼ばれています。

涌蓋山の最大の魅力は、広大な草原景観です。スキー場側登山口にある一目山は毎年春に行われる野焼きによって草原景観が保たれており、一目山から涌蓋山山頂までも、明るく開放的な登山道が続きます。登山道沿いにはミヤマキリシマが点在しており、5月下旬頃に見ごろを迎えます。

今回はそんなくじゅうらしい風景が詰まった、『九重森林公園スキー場～ミソコブシ山～涌蓋山』のコースを紹介します。



01 九重森林公園スキー場側登山口

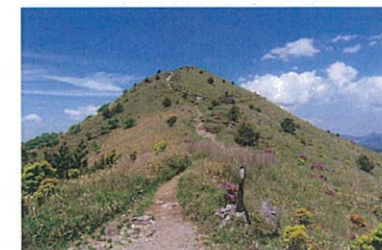


九重森林公園スキー場のある県道40号沿いに、20台ほどの駐車スペースがあります。周辺にトイレはありませんので、あらかじめ長者原ビジターセンター横の公衆トイレ等をご利用ください。舗装された牧道の入口ゲートから、一目山を横目に道なりに進みます。一目山は毎年春に野焼きが行われ、夏は緑の草原を、秋にはあたり一面黄金色のススキ草原を楽しむことができます。



▲春の野焼きの様子

↓ 02 ミソコブシ山 (1299.6m)



▲ミソコブシ山の山頂へつづく登山道



▲登山道沿いのミヤマキリシマの様子



▲ミソコブシ山を越え、再びミヤマキリシマの草原に出会える。ササ原のため、休憩にちょうどよい。

コンクリートの牧道が終わり一部林の中を通りすぎると、再び視界が開けます。登山口から約50分で、最初のミヤマキリシマスポットに到着です。そこからミソコブシ山の山頂までは、目と鼻の先です。ミソコブシ山までのコースであれば、小さな子ども連れの方や足に自信のない方でも、ハイキングを楽しむことができます。